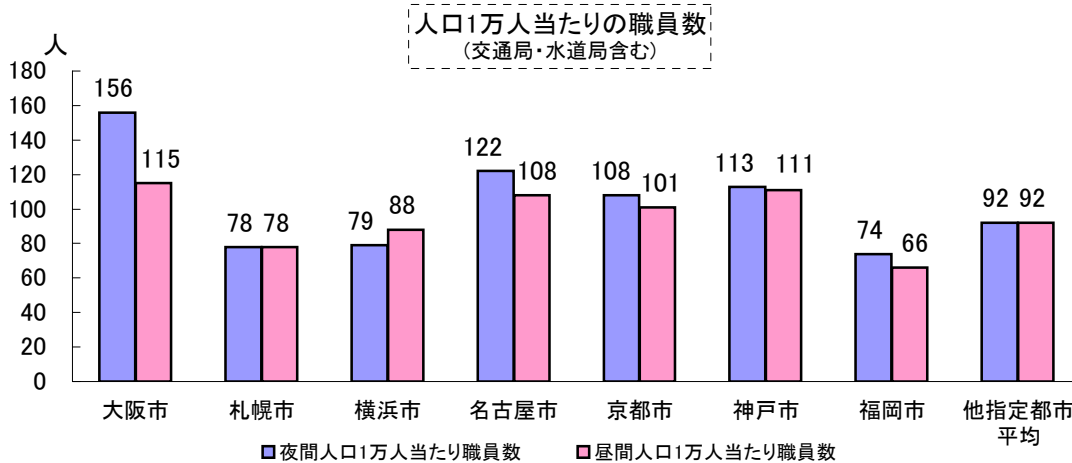


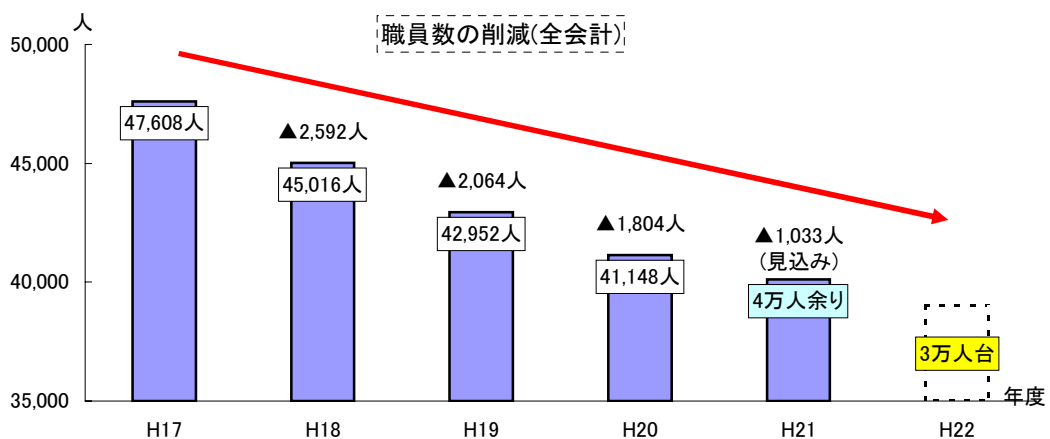
②職員数の削減

- 大阪市の人口1万人当たりの職員数は、他の指定都市と比較すると最も高くなっています。
- これは、地下鉄等の都市交通網や市立幼稚園・高等学校等の教育施設が充実していることなどもあり、直接的に行政サービスを行う職員や教職員等が多いことがあります。



(資料)職員数は総務省地方公共団体管理調査(平成20年4月1日)、人口割の人口は平成17年国勢調査

- 『市政改革基本方針』において、5年間で5,000人超の職員数の削減、市立大学等の独立行政法人化による2,000人程度の削減により、総職員数3万人台とすることを目指しています。
- 平成21年度には1,033人の削減を図り、平成18年度から21年度(予算)の削減数は7,493人となっています。この結果、21年度の職員数は4万人余りとなり、22年度には削減目標の3万人台となる見込みです。



職員数の削減(交通局・水道局含む)

	H17.10月	H18.10月	H19.10月	H20.10月	H21(見込)	4カ年累計額 (H18~21) (達成率約98%) ▲7,493人	H22	5カ年累計見込額 (H18~22) (達成率約114%) ▲約8,700人
削減数	—	▲2,592人	▲2,064人	▲1,804人	▲1,033人		▲約1,200人	
職員数	47,608人	45,016人	42,952人	41,148人	40,115人		3万人台	